

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	下関市こども発達センター豊浦		
○保護者評価実施期間	R7年12月10日		～ R7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R7年12月10日		～ R7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの発達特性等に応じた支援を行っている。	発達特性などの専門的な研修を受講し、専門性を高め、利用児の特性等を考慮したうえで支援を行っている。	利用児の理解をさらに深めるために積極的に同じ法人内のセンターをはじめとしたさまざまな関係機関との情報交換や専門的分野からの助言も療育に取り入れていく。
2	地域の関係機関(福祉関係や教育機関など)と連携することを意識した支援を行っている。	地域の支援学校の学校運営協議会に参加したり、積極的にサービス担当者会議を行うなど、普段から連携をとりやすい関係づくりを行っている。	様々な会議への参加や、利用児の送迎時などに担当者や普段からのつながりを大切にすることで、さらに相談しやすい関係作りにつなげていく。
3	保護者の悩み等に関して相談しやすい雰囲気を持ち、必要に応じて個別面談等を積極的に行っている。	相談支援専門員と連絡をとり、随時情報交換をして積極的に連携をとっている。	保護者の相談内容に関して、相談支援専門員と連絡をとり、必要に応じて施設支援やサービス担当者会議へつなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブ、児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会や地域住民を招待する等が難しい。	職員の数や部屋の広さ、市役所内の一画を使用していることもあり部屋を空けての活動や、他児を迎えての活動が難しい。	同じ建物内にある図書館に協力をいただいて、利用児が本を借りに行くなど普段の療育に利用させていただき、交流していきたいと考えている。
2			
3			